

平成27年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等としています。

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

○平成27年度表彰校・取組実績一覧

学校名	取組実績	部門
石巻市立 北上小学校	北上川河口に位置する小学校ということで、地域素材であるヨシ原を活用して地元企業の協力の元、河口におけるヨシ原でヨシ刈りを体験した。また、岩手県水堀小学校との交流活動で、ヨシ笛やヨシパンといった地域の伝統文化による創作活動を行なった。伝統文化に関しては地元NPO法人との連携を図っている。	・ふれあい
気仙沼市立 唐桑小学校	海に囲まれた地形を活かし、海と親しみ、海と共に生きる環境学習を実践した。地元特産の牡蠣の養殖体験や、磯の生物観察、海底湧水稚稚魚放流を通じて、今ある地域の資源をいかに次の世代に残していくのかということの理解に努めた。	・自然の恵み ・ふれあい ・自然保護
栗原市立 栗駒南小学校	栗原市の主産業である稲作を稲作りから、稲刈り脱穀までの一連の体験をした。この間、稲の生長過程を観察し、記録し、学芸会では稲作の様子を劇にして、成長観察過程を紹介することで、表現し伝える取組みも行なった。第5学年の稲作体験は約30年続く体験学習であり、田植えの方法も機械植えと手植えの両方を体験する等、地域の古くからの田植え文化について学習している。	・自然の恵み ・自然表現
大崎市立 下伊場野 小学校	入学からの6年間に、校舎に隣接して流れる鳴瀬川との関わりを主とした環境学習カリキュラムを組んでいる。 サケを卵から稚魚まで育て、鳴瀬川に放流し、サケが遡上するところまでを観察している。(H9～H27) また、全校児童による水辺の清掃活動として、鳴瀬川の河川敷を15年間継続して行なっており、河川と河川敷を含んだ一体的な水辺環境の保全を行なっている。(H12～H27) さらに、河川敷において国土交通省の協力を得て、近年見かけることが少なくなっているオミナエシを植え、成長を観察する七草プロジェクトを展開している。	・ふれあい ・自然保護
大和町立 鶴巣小学校	宮城教育大学との連携により、平成21年度から継続して年2回、地区の小川で希少種「マタナゴ」の個体数調査を行っている。その記録をチャートにまとめ、個体数の推移を記録している。また、小川で獲れた魚や貝を分類することで、外来種であるタイリクバラタナゴやアメリカザリガニの駆除を行なっている。この取組みはペーパーサートや紙芝居を作り希少種の保護について発表している(第4学年)。	・自然の恵み ・ふれあい ・自然保護

	<p>さらに、第3学年生徒は地域の田んぼの生き物調査を行い、生き物マップの作成をしている。</p>	
<p>明成高等学校 調理科</p>	<p>地域食材と食の学びに関する4つのプロジェクトを展開した。 (①仙台味噌/みそでスマイルプロジェクト ②仙台白菜/みんなの白菜物語プロジェクト ③ふるさとの米/和の米プロジェクト ④西洋南瓜/せんだいかぼちゃ耕校)</p> <p>地域の食材にスポットを当てることで、地域の食文化の継承、発展に寄与している。また、食材の商品化等を通じて、地域の食産業を発信する効果を生んでいる。さらに、取組内容を教材化することで、県内の小学校等において実践され、学びのネットワークを形成することにより高い普及性を持っている。</p>	<p>・自然の恵み</p>